

4月19日(火)に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省より公表されました。

本県の教科に関する調査結果は、小学校国語・算数・理科では、全国平均とほぼ同程度で、中学校国語・数学・理科は、平均正答率がおよそ1ポイント低い状況でした。県教育委員会では、成果をあげている学校の取組を県内に広めることなどを通して、全县での学力向上を目指していきます。

また、児童生徒を対象とした質問紙調査の結果からは、生活習慣や学習習慣と学力の関係などで、以下のことが明らかになりました。

- 家庭学習を自分で計画的に行っている。
- 平日にスマートフォン等でSNSや動画を視聴する時間が30分未満



正答率が高い!

※小学6年生の約3人に1人、中学校3年生の約2人に1人が平日に2時間以上スマートフォン等でSNSや動画を視聴しているという結果が出ています。

大切なことは、時間を管理する力を身につけることです。ご家庭において、お子さんの生活時間を24時間のグラフにして、学校、家庭学習、ゲームなどの時間を色分けして塗りつぶすことで、時間の使い方を可視化する取り組みなどをしてみませんか。

## 小学校専科非常勤講師・専科指導員の皆さんの活躍を紹介します!

今年度から始まった、「小学校専科非常勤講師等配置事業」とは、児童の学力および学習意欲等の向上を目指し、専門的な教科指導の充実や質の高い授業づくりを行うため、県独自に専科非常勤講師等を小学校へ配置するものです。今年度は算数、理科、体育、図画工作に各20校ずつの配置をしています。たくさんの魅力あふれる授業の中からいくつかを紹介します。



### 算数

(山武市立睦岡小学校)

2けた÷2けたの割り算で一人一人の様子を見ながら優しく声を掛け、丁寧に計算の仕方を教えてくれました。みんな、「わかった!」と、解ける楽しさを味わっています。



### 理科

(市原市立石塚小学校)

音が鳴るときの振動を、太鼓とビーズを使い体感を通して教えてくれました。子供たちは、太鼓の上で飛び上がるビーズに「すごい!」と、とても驚いていました。



### 体育

(市川市立北方小学校)

ボール投げの授業では、細かな動作まで教えてくれました。みんな初めより遠く飛ばすことができ、「すごく飛んだ!」と喜んでいました。



### 図画工作

(君津市立周西の丘小学校)

パレットを上手にを使って色の作り方を教えてくれました。「自分だけの色ができた!」と喜ぶ声が聞こえてきました。

## ICTを効果的に活用した授業実践

### 県立高等学校でICTを活用した授業がはじまっています!

高等学校では、BYOD\*による1人1台端末を活用して学習を今後進めていきます。今回は、先進的な授業実践を行っている2校を紹介します。

#### 【大多喜高等学校】

個人が複数の端末を使い、各自で設定した課題を解決するための情報を調べつつ、同時に発表資料を作成。情報の入手と入力を効率良く行うために端末を活用しています。

#### 【小金高等学校】

授業で学んだことをグループごとに4コマ漫画にまとめて発表する学習を行っています。端末を用いて各自が作成した資料を瞬時に共有することで協働的な学びを効率良く実践。資料を作成する時間が大幅に削減され、考えたり話し合ったりする時間が増加することで深い学びにつながっています。

\*Bring Your Own Device の略 (個人所有の情報端末を活用すること)

### 市町村イチオシのICT活用を県ホームページで紹介中!

県のホームページ内にある「ICT教育」のページでは、各市町村が主に、小、中学校で端末をどのように活用しているのか紹介しています。1人1台端末が整備されてから時間が経ち、現在どの市町村も特色あるさまざまなICTを活用した取組を実践しています。

また夏には、県内の市町村のICT教育担当者がオンライン上で一堂に会し、各市町村の優れた実践や効果的な活用方法についての情報交換を行いました。

今後ますます、子供たちの学びの中にICTが浸透していくことが期待されます。



県立大多喜高校の学習の様子



県立小金高校の学習の様子



千葉県「ICT教育」のページはこちら